

2026 年 10 月 8 日

## 「Dify Essential/Standard 環境構築・導入サービス」を提供開始 ～ リコー独自の Dify 導入推奨構成によりクラウド環境の設計・構築負荷を軽減、 中堅・中小企業における Dify のスムーズな導入を支援 ～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、生成 AI アプリケーション開発プラットフォーム「Dify(ディフィ)」を利用するためのクラウド環境の構築・Dify のデプロイメント(インストール)までを支援する「Dify Essential 環境構築・導入サービス」「Dify Standard 環境構築・導入サービス」を 2026 年 10 月 8 日より提供開始します。

「Dify Essential/Standard」ライセンスは、中堅・中小企業や部門単位での活用を対象としたライセンスです。今回提供を開始する「Dify Essential/Standard 環境構築・導入サービス」では、お客様が契約する AWS または Azure 環境上に Dify を利用するための環境構築から、構築した環境への Dify 導入、利用開始に必要な各種設定までをリコージャパンが一括して実施します。

構築する環境には、リコーグループがこれまでの社内実践を通じて培ってきた Dify 活用・運用の知見を反映しています。リコーグループ内での利用実績をもとに、安定運用に必要なサーバー構成などのインフラ要件、各種設定値を定義し、「Dify Essential/Standard」ライセンスそれぞれに最適化したリコー独自の Dify 導入推奨環境構成を提供します。これにより、お客様は導入における複雑な要件定義やクラウド設計、構築作業を自ら行うことなく、迅速に Dify の利用を開始できます。Dify 導入時の環境構築に伴う負荷を軽減し、中堅・中小企業における AI 活用の促進に貢献します。

リコージャパンはリコーグループの実践活動で培ったノウハウとともに、お客様に寄り添い、業種業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス／現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援してまいります。

### 背景

企業における生成 AI 活用が進む中、Dify を活用した AI エージェントや AI アプリケーションの市民開発への関心が高まっています。リコージャパンは 2026 年 6 月より「Dify Essential/Standard」ライセンスの提供を開始し、中堅・中小企業や企業の部門単位での AI 活用を支援してきました。一方で、中堅・中小企業をはじめとする IT・インフラ管理の人材やリソースが限られる企業においては、Dify ライセンス利用以前の段階であるクラウド環境の設計・要件定義や、利用規模に応じたサーバー構成の検討などの負荷が高く、導入までに時間と工数を要していました。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : [zjc\\_rjccd@jp.ricoh.com](mailto:zjc_rjccd@jp.ricoh.com)

お客様の問い合わせ先

リコーのAIに関するお問い合わせ

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/contact/>

## 「Dify Essential/Standard 環境構築・導入サービス」の特徴

### 1. 環境構築から導入までをワンストップで支援

お客様が契約する AWS または Azure 環境に対し、Dify を利用するために必要なクラウド環境の設計・構築から、構築した環境への Dify 導入、利用開始に必要な各種設定までをリコージャパンが一括で実施します。これにより、導入に伴う検討工数やリードタイムを削減します。

### 2. 社内実践で得た知見を反映した推奨環境構成を提供

リコグループの社内実践で培った Dify 活用ノウハウをもとに、「Dify Essential/Standard」ライセンスの運用に最適なサーバー容量、メモリ構成などのインフラ要件や、各種設定値を定義しています。要件定義や環境設計の負荷が軽減され、IT・インフラ調達・導入に十分なリソースを割けない企業でも、迅速に Dify の利用を開始できます。

### 3. お客様の利用規模に応じた柔軟な拡張性

標準構成による Dify の迅速な導入を実現しながら、お客様の利用規模や要件に応じたリソース拡張や個別カスタマイズにも柔軟に対応します。利用者数や業務範囲の拡大に合わせて環境を拡張でき、Dify 活用の段階的な展開を支援します。

## 今後の展開

リコージャパンは、Dify のライセンス提供に加え、導入・環境構築や運用・活用支援など、お客様の Dify 活用を支えるサービスの拡充を進めています。今回提供するサービスは、その取り組みの一環として、中堅・中小企業が生成 AI をより導入しやすく、安心して活用できることを目的に提供するものです。

2026 年 10 月 1 日からは、コミュニティ型 Dify アプリ共有プラットフォーム「RICOH AI App Mall powered by Dify」の提供を開始しています。AI の活用ノウハウの蓄積が難しい中堅・中小企業においても、コミュニティで共有されるアプリケーションや活用事例を参考にしながら、自社業務へ生成 AI を適用することができます。

今後もリコグループは、社内実践を通じて蓄積した知見をサービスへ反映しながら、お客様の Dify 活用の促進と定着を支援するサービス拡充を通じ、AI による業務効率化と生産性向上に貢献してまいります。

## ■リコグループでの Dify の活用と市民開発について

Dify は、LangGenius, Inc.が開発した LLM アプリケーション開発プラットフォームです。生成 AI を活用したアプリケーションや AI ワークフローをノーコード・ローコードで開発・運用できます。

リコグループでは、国内グループ社員約 3 万人が利用可能な Dify 環境を整備し、各部門および個人が業務に即したアプリケーションを開発しています。これまでに約 10,200 件(2026 年 7 月時点)のアプリケーションが作成されるなど、AI の市民開発が進められています。これらの実践で得た知見をもとに、公式販売・構築パートナーとして、Dify のライセンス提供や、導入支援、関連ソリューションの展開を行っています。

## ■関連ニュース

リコー、コミュニティ型 Dify アプリ共有プラットフォーム「RICOH AI App Mall powered by Dify」を提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/1001\\_2](https://jp.ricoh.com/release/2026/1001_2)

Notesアーカイブデータの利活用を実現するDifyアプリケーションを開発、個別提供を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0903\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0903_1)

リコージャパン、「大阪府行政AIエージェントコンソーシアム」に参画

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0807\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0807_1)

リコージャパン、リコーITソリューションズ、神戸市の新たな市内AI基盤「KOBE AI PORT」の構築を支援

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0708\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0708_1)

リコー、Difyアプリマーケットプレイスの社内運用を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0608\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0608_1)

「Dify Essential/Standard」ライセンスと、Difyアプリケーションの無償テンプレートを提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0601\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0601_1)

リコージャパン、Dify アカデミック版と教育支援サービスを提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2025/0630\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2025/0630_1)

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」開発元の LangGenius, Inc.と販売・構築パートナー契約を締結

[https://jp.ricoh.com/release/2024/1217\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2024/1217_1)

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」を活用した社内実践を開始し、AI の市民開発に向けた取り組みを加速

[https://jp.ricoh.com/release/2024/1128\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2024/1128_1)

## ■関連情報

Dify

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/service/dify/>

※AWSは米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※Azureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>